

和歌山の飛躍を支え、命を守るインフラ整備

1. はじめに

和歌山県は、本州紀伊半島の南西部に位置し、紀伊水道や太平洋など三方を海に囲まれています。また、古くから「紀（木）の国」と云われ、県土の大部分は紀伊山系を中心とした1,000m前後の山岳地帯であり、高野山、那智山など古代から親しまれた山々が多くあります。

本県には、世界遺産や温泉をはじめとする観光資源、豊かな自然を背景とした農林水産物、伝統と革新の技術を駆使した工業製品など、経済の発展につながる様々な資源があります。

その一方で、本県の地形的・気象的特性から毎年のように台風・集中豪雨等による水害や土砂災害が発生しており、また、近い将来に発生が予想されている南海トラフ地震により大規模な地震・津波災害に見舞われる可能性が高いため、大規模災害への備えが急務となっています。

2. 国内外との活発な人流・物流の創出

本県の持つポテンシャルを最大限に活用するため、世界との玄関口となる空港・港湾施設と県内各地とを結ぶ道路ネットワークを整備することで、国内外との活発な人流・物流を創り出す「世界とつながる和歌山」の実現を目指しています。

1) 空港・港湾の機能強化

空港については、熊野白浜リゾート空港の更なる活性化を図るため、空港の安全かつ安定的な運用に必要な施設整備を進めるとともに、コンセプションの導入による官民一体となった利用促進の取組や機材の大型化などにより、10年前に比べ

て約2倍となる年間20万人以上の方に利用いただいており、昨年度には過去最高を記録しました。周辺地域には白浜温泉などの観光資源が豊富であるため、更なる空港利用者増が可能と考えており、今後も国内線の利用促進や国際線の誘致、二次交通の強化について、全庁を挙げ推進していきます。

港湾については、国際拠点港湾である和歌山下津港をはじめとする各港湾で、クルーズ船など大型船舶が寄港するための泊地整備等を進めています。利用面では、コンテナ船、RO-RO船等の海上物流網の充実を推進するとともに、県内港湾へのクルーズ船寄港誘致活動を進めています。積極的なクルーズ船誘致活動の結果、今年度は40隻を超え過去最高を更新する見込みで、来年度も既に30隻以上の予約が入っており、好調に推移しています。



クルーズ船の寄港状況

2) 道路ネットワークの整備

空港の利便性向上や港湾の物流効率化など、空港・港湾施設と県内各地とをつなぐものとして、紀伊半島一周高速道路の早期完成や、幹線道路網等の整備に取り組んでいます。

近年、紀伊半島一周高速道路の整備に伴い、農



和歌山県知事 ^{みやざき}宮崎 ^{いずみ}泉

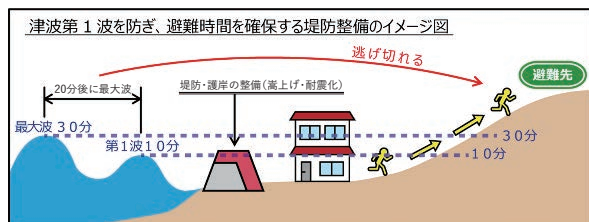
水産品が安定的に供給できることによる特産品の販路拡大やロードサイド型ホテルの開業など、様々な整備効果が表れています。また、日本初の民間ロケット射場が紀伊半島一周高速道路沿線に建設されました。これらの効果を更に波及させるため、幹線道路網等と合わせ、道路ネットワークの整備を推進します。

3. 国土強靱化の取組

本県ではこれまで様々な対策を進めており、その効果が着実に表れています。一方、昨年の能登半島地震とその後の大雨による災害の教訓を踏まえ、半島防災と複合災害への備えの観点から、引き続き国土強靱化に取り組む必要があります。

1) 津波への備え

本県は南海トラフに近く、地震発生から津波到達までの時間が非常に短いため、「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」を策定し、津波到達までに安全な場所までの避難が困難な地域の解消を目指し、対策を進めています。



津波の第1波対策による避難時間確保のイメージ

2) 風水害等への備え

本県は河川沿いの限られた平地、丘陵地に市街地が発達しており、豪雨等による人的・物的被害のリスクが高いことから、ハード・ソフト一体と

なった対策を進めています。特に、流域治水の取組として、本年1月に日高川水系西川を県内で初めて特定都市河川に指定しました。今後は、河川整備等のハード対策の加速化に加え、流出抑制対策や水害リスクを踏まえた土地利用等のソフト対策も活用し、浸水被害軽減対策を進めていきます。

3) 救助・救援に資するルートの確保

南海トラフ地震に伴う津波により、県南部の沿岸地域への主要ルートが浸水し、通行不能になると予測されており、また、内陸部の幹線道路についても、橋梁の損傷、道路斜面の崩落等により通行不能となる恐れがあります。前述の紀伊半島一周高速道路は、救助・救援や物資供給を行うための命の道としても機能するため、整備を促進しています。また、災害時における緊急輸送道路等の通行を確保するため、橋梁の耐震化や道路法面の強化等を推進しています。

4. おわりに

本年11月には、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が和歌山市等において開催されます。周辺には、紀州徳川家の居城・和歌山城をはじめ紀三井寺などの史跡や、万葉集にも詠われた和歌の浦など、風光明媚な景勝地が数多くありますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。